

# 安全上のご注意

ーはじめにお読みください。ー

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外す。



- ・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。



- ・交通事故やけがの原因となります。

## 注意

本機の取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



- ・安全のため必ずお買上げの販売店に依頼してください。
- ・場合によっては、本機が熱くなっていることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



- ・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



- ・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

本機を不安定なところに取り付けない。



- ・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



- ・外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- ・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意する。



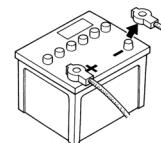
- ・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

# 取付説明書(KD-S540/KD-S550)

JVC

## 取り付ける前に

- ・作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外しておいてください。



- ・安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。

- ・取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。

- ・取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかりと固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。



- ・ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないよう注意ください。

- ・車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。

- ・取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

- ・車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、取り付けキット(別売り)を必要とすることがあります。この場合の取り付けかたは、取り付けキットの説明書をご覧ください。なお、インコンソールに取り付けができる車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買上げの販売店でお確かめください。

## ご注意

- ・取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ8 mm)をお使いください。8 mm以上のネジを使用しますと故障の原因になります。

- ・本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。

- ・本機は、DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車には使用できません。

- ・配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

## 取り付け方法

### 1. 純正のオーディオを外す

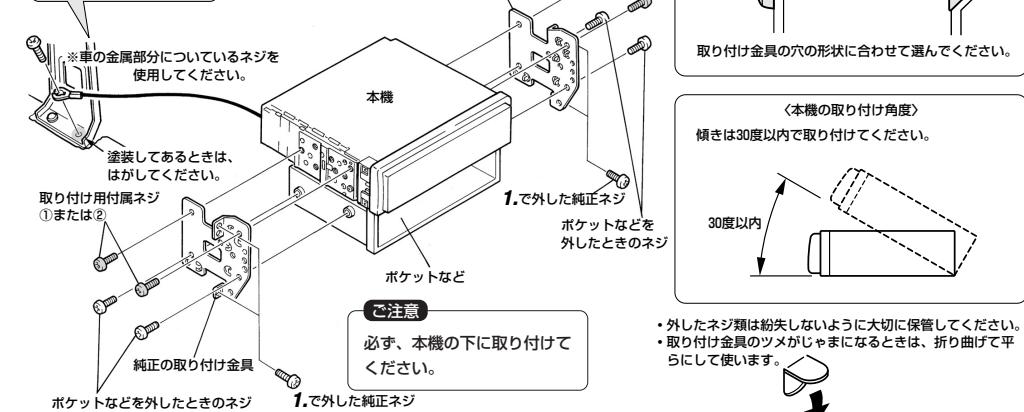
### 4. 車両に固定する

### 2. 本機に純正の取り付け金具を取り付ける

### 3. 接続する(裏面を参照)

イラストはトヨタ車の一例です。  
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

アース線を車体の金属部分に確実に接続してください。

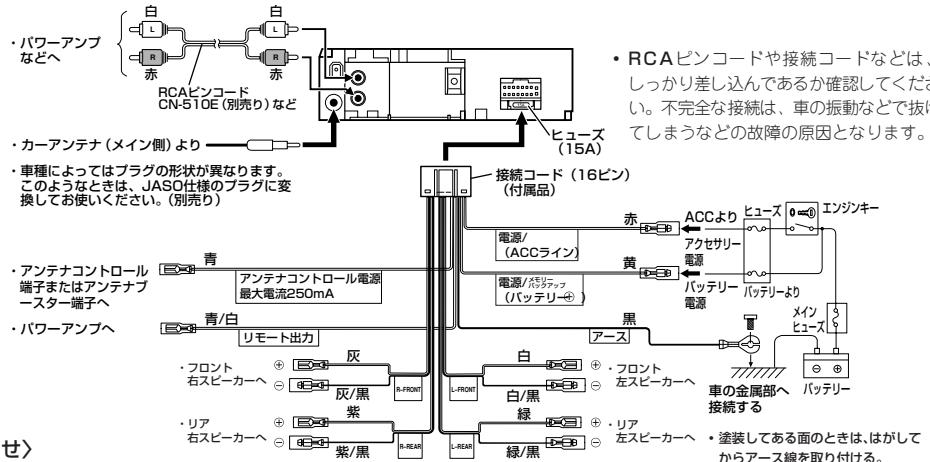


- ・外したネジ類は紛失しないように大切に保管してください。
- ・取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにして使います。

# 接続のしかた

—必ずお読みください。—

## 基本の接続 —4スピーカーシステムの接続例—



### 〈お知らせ〉

- 本機の接続コードの色は、車側の変換ハーネスの色とは異なることがあります。よく確かめてから接続してください。

### 〔最大入力が45W以下のスピーカーをつなぐときは〕

スピーカーを破損しないために、接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて、PSMモード設定の「AMP GAIN」を切り換えてください。

接続が終わったら電源を入れ、次の操作をします。

#### 1 SEL を2秒以上押す

- PSMメニューが表示されます(→取扱説明書19ページ参照)。

#### 2 □ または ▨ を押して「AMP GAIN」を選ぶ

#### 3 回転ボリュームを回して設定を選ぶ

- HIGH PWR : スピーカーの最大入力が45Wを超えるとき  
(初期設定)  
LOW PWR : スピーカーの最大入力が45W以下のとき

#### 4 SEL を押す

- ソース(音源)の表示に戻ります。

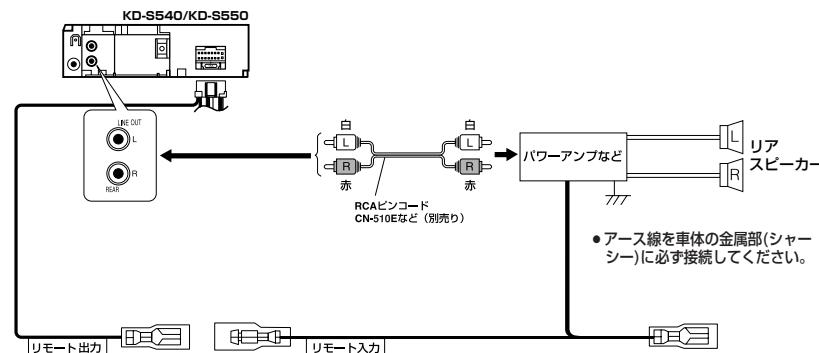
### アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コード(青)を車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ(バンド名)」にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「DISC」にソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コード(青)の最大  
コントロール電流は250mAです)

## システムアップする場合 —取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。—

### ● 外部機器との接続



### 〈お知らせ〉

- 車種(純正アンプ・アンテナブースター付きの車両)によっては、ラジオ以外のソース(音源)に切り換えると音が出ないことがあります。  
このようなときは、本機のリモート出力コード(青/白)を車両側の純正アンプ・アンテナブースター端子に接続してください。

### ・「取付キット」を別売りしています。

ヨーロッパ車に取り付けるときは、別売りの「取付キット: KS-K1413」が必要になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

### ・ダイバーシティアンテナ装備車に取り付ける場合

カーアンテナの太いプラグの方(メイン側)のみを本機に接続してください。